

食に関するニュースと食品関連企業の株価共分散変動

共生基盤学専攻 共生農業資源経済学講座 農業環境政策学 高城 努

1. はじめに

近年、食に関するニュースが相次いで報道されている。食中毒問題や食品偽装問題は社会問題となり、当該企業の信頼だけでなく、長年にわたって業界全体で築きあげてきた消費者からの信頼を損なうこととなった。このように、食品偽装をめぐる問題は、当該企業だけでなく、偽装のなかった同業種の他企業（以下、同業他社）へも、その影響は波及している。

これまで、例えば食に関する不祥事についてのニュースが当該企業の株価に及ぼす影響を明らかにする試みはされているものの、同業他社への影響を明らかにした分析は少ない。そこで本論文では、東京証券取引所第一部（以下、東証一部）の上場企業の中で食品業と小売業に分類される15社を対象に、企業の社会的評価を反映している株価の共分散の変動を分析することで、食に関するニュースが関連企業にどのような影響を与えているのかについて、明らかにする。

2. 方法

本論文では、食に関するニュースが関連企業間の株価変動に及ぼす影響を分析するために、株価の共分散を推定する。分析には、東証一部の歩み値データを用いた。歩み値データには、個々の取引の取引時刻、約定価格、取引量が記録されており、取引時間内の詳細な取引情報を知ることができる。一方で、歩み値データによる分析には、①取引時刻が非等間隔である、②2証券間の取引時刻が非同期的であるという問題がある。本論文では、この2つの問題に対応したPre-averaged HY推定量とPre-averaged Truncated HY推定量によって共分散を推定し、日中取引における共分散の突発的な変動と食に関するニュースの関係を分析した。

3. 推定結果

分析の結果、食中毒事件では、当該企業の株価と同業他社の株価を乖離させるような影響を及ぼしていることが明らかとなった。BSE発生のニュースに関しては、関連する業種全体の株価が同一方向に動くような影響を及ぼすことがわかった。一方、食品偽装に関するニュースでは、同業他社への影響は業種ごとに異なる結果となった。

4. まとめ

BSE発生のような企業外部から発生したニュースは、関連する業界全体の株価に同一の影響が現れる。食中毒事件のような消費者に健康被害といった直接的な悪影響を及ぼす事例では、当該企業と同業他社の株価に正反対の影響が現われる。食品偽装のような企業コンプライアンスに反するニュースは、当該企業の株価を下落させるような影響を及ぼすが、同業他社の株価に対する影響はニュースの内容により異なる。